

卒業研究	教 授 白井 雅人
------	-----------

1. ゼミのねらい・概要

情報技術を含む広義のメディアおよびその周辺領域に関する個別具体的研究、もしくはプログラミング等によるコンテンツの制作実践のいずれかを各自が選択して自主的に進め、最終的に卒業研究にふさわしい成果物としてまとめる。自ら選択したテーマについて研究し、1年をかけてまとめあげることを通じて、大学における4年間の学業の集大成としての成果をかたちとして残すことを目標とする。

2. ゼミ計画

各自の卒業研究の進捗状況・調査研究結果の報告などを随時行いながら進める。計画段階から完成までプレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながらつねに検討を加えることによって、その内容を絶えずブラッシュアップしてゆく。ほかに卒業研究に関する基本文献の購読や、最新のトピックスなどに関する講義、各種の演習・実習、作品鑑賞なども適宜行う。また卒業研究のすすめ方については必要に応じて個別指導を行う。

1. ガイダンス	16. 前期課題報告 第一グループ
2. 卒業研究とは	17. 前期課題報告 第二グループ
3. 研究テーマの選択	18. 後期個別指導 第一グループ
4. 研究テーマの決定	19. 後期個別指導 第二グループ
5. 研究テーマ発表会	20. 卒業研究のまとめ方
6. 資料収集の方法	21. 卒業研究の体裁
7. 資料の分析	22. 後期中間発表 第一グループ
8. 論文における文章作法	23. 後期中間発表 第二グループ
9. 参照資料の文章化の方法	24. 後期個別指導 第一グループ
10. 脚注と文献の書き方	25. 後期個別指導 第二グループ
11. 前期中間発表 第一グループ	26. 書式の確認
12. 前期中間発表 第二グループ	27. 最終チェック
13. 前期個別指導 第一グループ	28. 発表会資料作成
14. 前期個別指導 第二グループ	29. 発表会資料チェック
15. 前期課題最終チェック	30. 最終講評

3. 到達目標

自らの関心に応じて研究テーマを設定し、その概要・内容を発表できるようになる。また研究の手法を身につけることによって進行した研究内容をレベルに応じて発表できるようになる。さらに最終的に卒業研究として、4年間の集大成としてふさわしい研究成果を自らの研究としてまとめあげ、完成させる。

4. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

各自の設定したテーマについて、参考文献や資料等を収集し、それらを読んで十分に研究しておくこと。また授業におけるプレゼンテーションにおいてその概要を発表できるよう、発表資料等を準備しておくこと。最終的には、卒業研究としてこれをまとめあげ、期日までにこれを完成させること。

5. 成績評価の方法・基準

ゼミにおける受講態度および貢献度から、最終的に完成される研究の成果までを総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：井下 千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法(第2版)』慶應義塾大学出版会、2014年 ISBN: 978-4766421071

テキスト：山口裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室: 3つのステップ』新曜社、2013年 ISBN: 978-4788513457

7. 受講上の留意事項

出席のみならず，ゼミへの積極的な関与が求められる。